

スモール・モンスタース・ジャパンの運用状況

中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスタース・ジャパン)

追加型投信/国内/株式

2017年12月15日

- 国内株式市場では、新興市場株が主力大型株に比べて出遅れていますが、過去の季節性などから、新興市場株が選好されやすい局面を迎えると考えられます。
- 当ファンドでは、新興市場上場銘柄を有望な投資対象のひとつと考え、独自のビジネスモデルなどを背景に中長期的な成長が期待される銘柄に積極的に投資しております。

1. 出遅れ感が強いと考えられる東証マザーズ指数

国内株式市場は、世界的な景気拡大や良好な企業業績などを背景に9月中旬を底に上昇しています。11月には主力大型株を多く含む日経平均株価が約26年ぶりに一時23,000円台を回復しました。一方、新興市場の主要株価指数である東証マザーズ指数は、7月以降の下落を回復したに過ぎず、日経平均株価に対する出遅れ感が強いと考えられます【図表1】。

2. 東証マザーズ指数の季節性

過去5年の東証マザーズ指数の月別騰落率をみると、年初から4月までは上昇し、その後、年央の調整を経て年末にかけて回復しやすいという季節性が確認されます【図表2】。2017年も9月以降の主力大型株の上昇を受け、新興市場の主要な投資主体である個人投資家のリスク許容度が高まり、過去の季節性と同様に、新興市場株が選好されやすくなると考えられます。

3. 当ファンドの運用状況

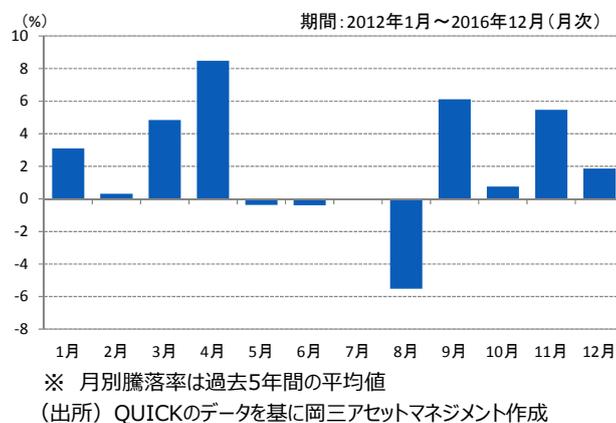
新興市場に上場する企業のなかには、オーナー経営者などの強いリーダーシップのもと、独自の強みや特色のあるビジネスモデルにより業績拡大を続ける魅力的な企業が存在します。一方、新興市場株は企業規模が相対的に小さいこともあり、業績変化や株価変動が大きくなる傾向があるほか、大型株に比べ、市場流動性が低いことなど新興市場株特有のリスクがあると考えられます。

当ファンドの運用につきましては、高い技術力や特徴あるビジネスモデルなどにより中長期的な利益成長が期待される企業を選別するなかで、新興市場株にも積極的に投資しております【図表3】。今後も地道な企業調査による銘柄選別を通じて、ファンドパフォーマンスの向上に努めてまいります。

【図表1】国内主要株価指数の推移



【図表2】東証マザーズ指数の月別騰落率



【図表3】東証マザーズ上場の主要組入銘柄

2017年12月11日時点

銘柄コード	銘柄名	業種	事業概要	構成比
3679	じげん	情報・通信業	求人や不動産などの検索サイトを運営	5.7%
3479	ティーケーピー	不動産業	貸会議室の運営大手	4.7%
6047	Gunosy	サービス業	ニュース記事などを配信するスマートフォンアプリを展開	4.2%
3904	カヤック	情報・通信業	インターネット広告の受託制作やゲームアプリを展開	3.5%
3990	UUUM	情報・通信業	ユーチューバー(動画投稿者)のサポート事業を展開	3.1%
2122	インタースペース	サービス業	インターネットのアフィリエイト(成果報酬)型広告の代理店	3.1%

※ 構成比は当ファンドの純資産総額に対する比率です

※ 上記で紹介した組入銘柄は個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません

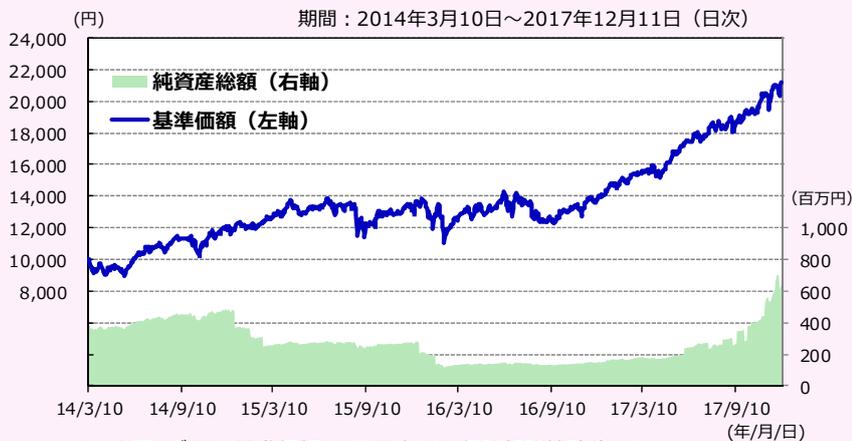
<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスタース・ジャパン)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスターズ・ジャパン)
追加型投信/国内/株式

運用状況 (作成基準日: 2017年12月11日)

設定来の基準価額の推移



※ 上記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
 ※ 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本です。
 ※ 設定日の純資産総額は、当初設定元本総額です。
 ※ グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ファンドの状況

基準価額	21,190円
純資産総額	640,097,093円
株式組入比率	92.6%
組入銘柄数	32銘柄

※基準価額は1万口当たりです。



組入上位10業種

順位	業種名	構成比
1	サービス業	29.4 %
2	情報・通信業	13.9 %
3	電気機器	9.1 %
4	小売業	8.3 %
5	機械	6.7 %
6	医薬品	6.0 %
7	ガラス・土石製品	5.7 %
8	不動産業	4.9 %
9	化学	3.6 %
10	卸売業	2.5 %

組入上位10銘柄

順位	銘柄コード	銘柄名	構成比
1	3679	じげん	5.7 %
2	5344	MARUWA	5.7 %
3	6516	山洋電気	5.1 %
4	3479	ティーケーピー	4.7 %
5	6047	Gunosy	4.2 %
6	6134	富士機械製造	4.1 %
7	6058	ベクトル	3.8 %
8	7970	信越ポリマー	3.6 %
9	3904	カヤック	3.5 %
10	2120	LIFULL	3.4 %

市場・規模別構成比

市場・規模別	構成比
東証1部中型株	2.9 %
東証1部小型株	46.9 %
東証1部その他	1.3 %
東証2部	5.0 %
JASDAQ	5.9 %
東証マザーズ	30.8 %

※ 業種、銘柄、市場・規模別の各構成比は、いずれも当ファンドの純資産総額に対する比率です。
 ※ 市場・規模別構成比は四捨五入して表示しておりますので、上記、株式組入比率の合計値と一致しないことがあります。

中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスターズ・ジャパン) ファンドの特色

- ◆ 主として、わが国の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。)株式のうち、相対的に時価総額が中小型規模の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して積極的な運用を行います。また、新興市場の株式に積極的に投資する場合があります。
- ◆ 株式の投資にあたっては、高い技術力、優れた商品開発力、特徴のあるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、飛躍的な成長が期待される企業の株式を選別します。
- ◆ 株式の組入比率は、高位を保つことを基本とします。
- ◆ 株式以外の資産の投資割合は、原則として投資信託財産総額の50%以下とします。



(作成: 運用本部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスターズ・ジャパン)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスタース・ジャパン)
追加型投信／国内／株式

中小型成長株オープン(愛称 スモール・モンスタース・ジャパン)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：ありません。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率0.918%（税抜0.85%）
 - その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0108%（税抜0.01%）
 - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

中小型成長株オープン(愛称 スマール・モンスターズ・ジャパン)
追加型投信／国内／株式
2017年12月15日現在

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
(金融商品取引業者)					
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

<本資料に関するお問い合わせ先>

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)